

毎年恒例新入生紹介!

—新メンバー8名集う!—

The Annual New Member Introduction.

—We have New 8 Members!—

text_yabuki

本年度もいよいよ研究室に新たな風を吹かせる新メンバーが研究室にやってきました。追いコンから1ヶ月以上静かだった都市デザイン研究室もいよいよ賑やかに、新たな年度が始まりました!

grade	名前	image	M1	M1	M1	M1	研究生
			中村 貴文 (NAKAMURA Takafumi)  <ul style="list-style-type: none"> ①静岡県浜松市、東北大学工学部建築社会環境工学科 ②旅、バイク、カメラ、珠算 ③チェニス (チェルニヤ)、ニューヨーク、浜松、新宿、ボカラ (ネパール)、それぞれの街に違う良さや雰囲気があるから。 ④おもしろい こともなき世を おもしろく ⑤観光とまちづくりを結びつけ、まちに活気を起こしたかったから。 ⑥花の都「東京」に飲まれない程度に頑張ります!! 	大森 文彦 (OMORI Fumihiko)  <ul style="list-style-type: none"> ①福岡 / 久留米大学付設高校 ②写真、旅行 ③竹富島、時間の流れがゆったりしていて、まったりできるから。 ④明日できることは今日するな ⑤古い町並みが好きだから ⑥拒まない!! 			
M1	浅野 純子 ASANO Junko  <ul style="list-style-type: none"> ①福岡県宗像市 / 県立福岡高校 ②パレー、ビール、ひとり旅 ③屋久島が好きです。日本の離島めぐりがしたいです。島の独特の文化が好きなので。 ④九州男児。 ⑤中学の頃から世界遺産等の保全に関わりたと思っていました。 ⑥過労死しないようにがんばります。 	安東 政晃 (ANDO Masaaki)  <ul style="list-style-type: none"> ①大阪府八尾市 / 京都工芸繊維大学造形工学課程 ②野球 (するのを見るのも) ③ヴェネツィア地方、スカルパの建築が見たい。福井県、人が優しい ④「背水の陣」、「人情第一」 ⑤先輩に紹介してもらって、プロジェクト等活動に興味をもったから ⑥朝型人間になるのが目標です。 	石井 かおる (ISHII Kaoru)  <ul style="list-style-type: none"> ①東京都 / 日本女子大学 ②歌舞伎、音楽、映画鑑賞、お散歩、旅行、ピクニック ③クライストチャーチ、パリ、シンガポール、吉祥寺、丸ノ内、銀座 ④マイペースで頑張る ⑤西村先生の本を読んで… ⑥一生懸命頑張ります! 				
M1	松本 綾 MATSUMOTO Aya  <ul style="list-style-type: none"> ①東京都 / 日本女子大学家政学部住居学科 ②音楽鑑賞、美術館めぐり、サッカー観戦 ③下北沢…散歩するのが楽しい、ウィーン ④案ずるより産むが易し ⑤プロジェクトに興味を持ったため ⑥有意義な2年間にしたいです。 	北川 貴巳 KITAGAWA Takami  <ul style="list-style-type: none"> ①埼玉県深谷市 / 県立浦和 / 北海道大学 ②ピアノ、サッカー、バスケット、スキーボード ③京急蒲田駅周辺、ヘルシンキ (フィンランド) …雰囲気 ④常に芯をもつこと。 ⑤研究室見学をして、プロジェクトが気になってしょうがなかった。 ⑥大学時代にできなかったことに果敢にチャレンジします。 	ロハスリンダ ビンティ ラメリ ラムリ (Rohaslinda Binti Ramele Ramli)  <ul style="list-style-type: none"> ①マレーシア、セランゴル / 神戸大学 (自然科学研究科建設学専攻) ②写真、アート ③マラッカ (マレーシア)、伊根町、美山町、熊川宿 行ってみたい町 : 日本中の伝建地区 ④ Actions speak louder than words ⑤神戸大の先生の推薦、西村先生と都市保存研究をやりたいこと ⑥研究室の皆さんと仲良くする事。博士の入学試験に合格する事。 				

公開活動報告会 2011 開催!

Presentation of Our Lab.'s Projects was held!

text_yabuki

本年度も1年間のプロジェクトの活動を発表する公開活動報告会を開催し、弥生キャンパス向ヶ岡ファカルティハウスにて新入生歓迎会を行いました!

毎年恒例の都市デザイン研究室公開活動報告会を今回も開催し、内外から多くの方にお集まりいただきました。今回は新領域の空間計画研究室とのプロジェクトも含め21のプロジェクトを紹介しました。同じ研究室にいてもなかなか知る機会のないプロジェクトの内容も知る事ができ、とても興味深い内容となりました。その後は待ちに待った新歓コンパで新入生を迎え入れました。1年間コンパ係を務めてくれたそして西村さん、山重君、本当にお疲れさまでした!



▲佐原プロジェクトの発表の様子



◀立食形式で盛り上がりました



▶コンパ係に感謝

留学生コーナー第11弾！

An Essay by International Student vol.11

極楽浄土のような世界「古川町」

D2 王 新衡

台湾におけるまちづくりの先進事例といえば、古川町です。西村先生の著書「町並みまちづくり物語」や公共テレビ番組（台湾のNHK）「城市の遠見 - 古川町」で紹介されたことにより、長年にわたる古川でのまちづくりの実践は台湾に大きな影響を与えています。また、近年の台湾の小学4年生の国語の教科書では4ページにわたって古川の町並みやまちづくりが紹介されています。台湾の人々は古川町をきっかけに日本型まちづくりを知るのです。私が初めて古川を訪れたのは、2009年の3月でした。鯉は見れませんでした。太陽の光を反射してきらきらと輝く瀬戸川を見て、教科書に描かれている仙人の郷のような美しさだと感じました。古川町では住民のまち

づくりへの参画・協働によって古川らしい街並みを保全し、各種イベントなどを交流の場として地域の文化を継承しています。伝統的景観の保全及び創出を目的とした方策により、歴史あるまちと調和した水と緑が生きる古川町は、阿弥陀経の「極楽浄土」のような世界だと私は思います。

東北地方太平洋沖地震による未曾有の大災害を鑑み、今年古川で行われる予定の祭事は中止となりました。しかし、9月30日から10月2日に古川町で行われる第34回全国町並みゼミは開催の予定です。住民の方や町並み保存連盟の方々は震災を乗り越え、笑顔で来訪者を迎える準備をしています。台湾の人々も古川町の方々に応援しています。

多国籍な都市デザイン研の特徴を生かし、長年住んでいると気づかない日本の都市の姿を留学生の新鮮な目で伝えます。今年度初回の第11弾は、台湾出身のD2 王 新衡さんです！



▲ 古川町での丘如華先生（台湾）の講演会



▲ 古川町の町並み 瀬戸川と白壁土蔵

プロジェクト報告

佐原 PJ 始動

Projects are proceeding actively!

震災から1ヶ月後の佐原の被災状況調査です。

佐原 SAWARA-project プロジェクト

M2 吉田 健一郎

4月26日に新M1を迎え入れてから（入学はまだでしたが）最初の香取市訪問をしました。これまで佐原の町並みや回遊性に着目してきましたが、当市が震災と液状化の被害を受けた中で私たちにできることは何か、それを探す上でも重要な調査となりました。午前中は十二橋の町を歩き、農地の現状を確認、午後は分担して佐原と山田・山倉で住民の方々の声を聞いて回りました。建物や農地に被害を受けても前向きな姿勢を崩さない人々が印象的でしたが、同時に商店の経済的不安や伝建の修復等といった難しさも実感しました。今後は被害状況を地図上に起こしながら、人々の声とこれまでの復興まちづくりの手法をまとめ、提案につなげていくことでまちに貢献していきたいと考えています。



▲いまだ修復されない護岸



▲蔵の屋根の被害を見るメンバー

特別企画

GW 旅行記

Travel essays in the Golden Week holidays

GW中、M2三名が旅行に行ってきました！訪れた町について語ってもらいました。

text_yasukawa

4月30日-5月1日に、前川・村本・安川・他一名で栃木県に旅行に行ってきました。1日目は栃木市に行きました。佐原、川越に並ぶ小江戸の一つで、佐原メンバーとしてはぜひ見ておかないと！ということで見学に訪れました。栃木市は蔵のまちとして有名ですが、美しい鯉が泳ぐ水路や、公共建築の洋館が印象的などとも面白いまちでした。まちを貫く巴波川に飾られた鯉のぼりも圧巻で、まちのパワーを感じました。

夜は鬼怒川温泉でリフレッシュし、2日目は鬼怒川の川下りからスタート。渓谷の春は、黄緑・緑・濃緑・ピンクと色とりどりで、本当に美しかったです。その後東武ワールドスクエアに行きました。1/25で並ぶ各地の建築物を堪能し、世界を一周する楽しさを僅か3時間で味わいました。つかの間の充実した2日間は学生最後のGWの大切な思い出になりそうです。



▲鬼怒川川下り



▲栃木市役所分館

Information

5月の予定

- 5月14日-16日 栃現地調査
- 5月19日-20日 足助現地調査
- 5月20日-30日 GCOE ベッカム現地ワークショップ

* 編集後記

矢吹 剣一

先日、震災後2ヶ月間メディアを通して見聞きしていた場所を実際に見るために、M1&M2の12名で宮城と岩手に行ってきました。瓦礫の山と化した都市や町や集落から必死に何かを読もうとする度に、日頃関わっている町には土地を読み解く手がかりが沢山転がっているのではないかと考えさせられます。日々のプロジェクトで研鑽を積む必要性を痛感した3日間でした。